

営農情報

第98号 平成22年12月14日発行

(麦)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

麦の播種はほぼ終わり、出芽期をむかえています。今年は適度な降雨にも恵まれ、順調に発芽しています。今後は雑草の生育に注意してください。

1 施肥基準

シロガネコムギの第1回目追肥は、葉の枚数が5～6枚の時(1月中～下旬)に行います。第2回目追肥は節間伸長期前(2月下旬)までに行います。

(kg/10a)

品 種 名	肥 料 名	1月中～下旬	2月下旬	(穂揃期)
シロガネコムギ	NK7号 又は BB606	30	15	(10 硫安)
	グッドIB200	35		

ミナミノカオリの追肥は、タンパク質含量を高めるため、必ず1月下旬～2月上旬(できれば2月上旬)に行いましょう。

(kg/10a)

品 種 名	肥 料 名	1月下旬～2月上旬	穂揃期 (4月20日頃)
ミナミノカオリ	グッドIB506	40	10(硫安)

タンパク質含量を高めるため、穂揃期追肥を行いましょう。

穂揃期追肥は、赤かび病防除と同時に、尿素による葉面散布も可能です。その場合、10aあたり尿素5kgを、水100リットルに溶かして散布します。

(kg/10a)

品 種 名	肥 料 名	1月中～下旬	2月下旬	穂揃期
はるしずく	NK7号又はBB606	20		

2 除草剤(ハーモニー剤)散布

カズノコグサ対策を行う場合、ハーモニー水和剤10gを、1月上中旬を目安に散布します。ハーモニー水和剤の場合、液量が少ないと効果が不十分なので、10aあたり100リットル使用します。

また、薬剤散布直前及び散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

除草剤名	使用時期	10a使用量	注意点
ハーモニー細粒剤F	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	4～5 kg	細粒剤、水和剤のどちらか 1回しか使用できません。
ハーモニー75DF水和剤	麦3葉期～節間伸長前 (カズノコグサ3葉期まで) (スズメタネホウ5葉期まで)	7.5～10 g	

農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意してください。

野菜等、他作物にかかった場合、薬害だけでなく、農薬残留基準値オーバーによる出荷停止など、大きな経済的被害を受ける場合があります。

3 麦踏み、土入れ

(1) 麦踏みは、倒伏及び徒長防止に効果があり、麦の葉が3枚以上になってから行います。1月上旬～2月下旬(節間伸長開始前)に、10日間隔を目安に3～4回以上実施します。

土が乾燥し、茎葉に霜や露がない時に実施します。湿った状態で行なうと、土が締まって排水性が悪くなり、麦生育に悪影響を与えます。

(2) 土入れは、麦の葉の枚数が3～4枚になったら始めます。実施時期は、1月上中旬、2月上旬、3月上旬頃の3回くらいが適当です。麦踏み前に実施します。

1回目は浅く、2、3回目は麦の生育に伴って土入れの量を増します。

雑草防除や排水向上、無効分げつの抑制、倒伏防止などに効果があります。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!